

2019年11月映画興行部門興行成績速報

11月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

695スクリーン **興行収入** **4,892,924,863 円** **(前年比 89.1%)**

11月主要稼働作品

『マチネの終わりに』『蜜蜂と遠雷』『記憶にございません!』『天気の子』『アナと雪の女王2』『ターミネーター : ニュー・フェイト』『ジョーカー』『IT/イット THE END “それ”が見えたら、終わり。』『決算! 忠臣蔵』『ひとよ』『マレフィセント2』『イエスタデイ』『Re:ゼロから始める異世界生活 氷結の絆』『閉鎖病棟 —それぞれの朝—』『ブラック校則』『ゾンビランド:ダブルタップ』『ブライトバーン/恐怖の拡散者』『その瞬間、僕は泣きたくなくなった —CINEMA FIGHTERS project—』『オーバー・エベレスト 陰謀の氷壁 WINGS OVER EVEREST』『ドクター・スリープ』『シティーハンター THE MOVIE 史上最香のミッション』『最高の人生の見つけ方』『空の青さを知る人よ』『ジェミニマン』『映画スター☆トゥインクルプリキュア 星のうたに想いをこめて』『冴えない彼女の育てかた Fine』他

1月から11月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **72,456,383,649 円** **(前年比 118.1%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)

以上4社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)は、東宝(株)連結子会社

(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。